

第72回西日本学生体操選手権大会

要 項

西日本学生体操連盟

West Japan Gymnastics Federation of Students

1. 期 日 新体操の部 令和4年5月24日(火)～26日(木)
体操競技の部 令和4年5月27日(金)～29日(日)
2. 会 場 スカイホール豊田(豊田市総合体育館)
〒471-0861 愛知県豊田市八幡町1-20 (TEL) 0565-31-0451
3. 主 催 西日本学生体操連盟
4. 共 催 豊田市(予定)
5. 主 管 東海北信越学生体操連盟 関西学生体操連盟 九州学生体操連盟
6. 後 援 愛知県教育委員会 豊田市教育委員会 公益財団法人日本体操協会 愛知体操協会
豊田市体操協会 全日本学生体操連盟 株式会社中日新聞社
7. 協 賛 未 定

8. 参加資格

- (1)今年度、全日本学生体操連盟規定に基づく加盟を行った、九州支部、関西支部、東海北信越支部に所属する大学(専修学校、高等専門学校を含む、以下省略)の者。
- (2)全日本学生体操連盟への登録が4回以下の者で、各大学所在地の都道府県体操協会の定める登録規定により登録を済ませた者。
- (3)登録・加盟については(公財)日本体操協会及び全日本学生体操連盟に4月30日までに登録・加盟を行えば認める。但し、新入生は大会前日までとする。
- (4)令和4年度の関西、九州、東海信越学生体操選手権大会(以下、本年度支部インカレとする)に出場し、参加資格を獲得した大学及び選手。但し、詳細は以下の通りとする。

① 体操競技の部

<男子>

- ・本年度支部インカレへチーム出場した一部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠4つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレへチーム出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へチーム出場を認められた二部校は、チーム出場枠を1つと個人出場枠2つを与える。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレへ出場し、同大会後に開かれた通過者会議において本大会へ個人出場を認められた選手は、本大会への個人出場を認める。但し、同選手を他の選手への選手変更することは認められない。

<女子>

- ・本年度支部インカレにチームで出場した大学は、チーム及び該当する個人枠数の個人選手の出場を認める。但し、チームのメンバー、補欠及び個人の選手は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする（ここでいう本年度支部インカレのチームとは5～6人で構成されていることを条件とする。本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、本大会の個人出場を認める）。
- ・本年度支部インカレに個人のみで出場している大学及び本年度支部インカレに3～4人でチームを構成し出場している大学は、出場した選手のみ本大会個人出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。

② 新体操の部

- ・本年度支部インカレにチームで出場した大学はチーム出場を認める。但し、チームのメンバー及び補欠は本年度支部インカレの出場の有無に関わらず任意に変更可とする。
- ・本年度支部インカレに個人で出場した者は、個人出場を認める。但し、本年度支部インカレに出場していない選手への変更は認めない。

③ 共通項

下記に該当する大学及び選手は、本大会への出場を認めるものとする。但し、大学名、選手名、理由等を書面に記入し、責任者の押印の上、所属している学生体操連盟に提出し、会長と委員長の承認を得ること。

- ・全日本学生体操連盟の登録が初回の者で、本年度支部インカレに出場できなかった者。
- ・怪我及びやむを得ない事情により本年度支部インカレに出場できなかった者。

<体操競技の部>

1. 参加人数

(1) チーム編成

- ・男女共、チーム編成は各大学1チームとし、5～6名(ベスト5)とする。
- ・いかなる場合においてもベスト5を組めない時点で個人扱いとする。

(2) 個人参加

<男子>

- ・支部インカレにおいて本大会へのチーム出場を認められた大学。
1 部校・・・4名 2 部校・・・2名
- ・支部インカレ後に開かれる通過者会議において個人出場を認められた選手。

<女子>

- ・予選に個人参加の大学・・・4名まで
- ・チーム出場校 1 部校・・・4名まで 2 部校・・・2名まで

(3) 補欠および選手変更

- ・各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない。なお、補欠として大会期間中に会場内に入場できる者は、各チーム2名までとする。
- ・チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- ・競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、初回申し込み時に記載された選手名のみとなる。
- ・選手変更および棄権の申請は、5月27日(金)の監督会議前までに所定の用紙を受付に提出すること。但し、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
- ・選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

2. 競技方法

(1) 採点規則及び競技規則

- 男子・・・2022年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。
- 女子・・・2022年版採点規則及び体操競技情報最新号を適用する。
- ・器具については(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は部報に記載する)。
- ・0.000 は棄権ではなく、得点として扱う。
- ・競技中の負傷により演技の継続が不能になった場合、残りの種目の得点は0.000とする。
- ・跳馬のメジャーは本連盟で準備したものを使用すること。
- ・新技申請は5月27日の受付終了時までには受付に提出すること。それ以後の申請は認めない。
- ・開始種目とゼッケンナンバーは本連盟において決定する。尚、試技順は繰り上がりにより統一する。

3. 順位の決定

- (1) 団体総合選手権： 各種目のチーム得点(ベスト5)の合計によって決定する。
- (2) 個人総合選手権： 男子6種目、女子4種目の総合得点によって決定する。

(3)種目別選手権： 各種目の得点によって決定する。全種目実施しなくても表彰の対象とする。

4. 表 彰

- | | | | | | | |
|--------------|-------|--------------|------|--------|------|----|
| (1)団体総合選手権の部 | 優勝 | 賞状・メダル・優勝杯 | 2～3位 | 賞状・メダル | 4～6位 | 賞状 |
| (2)個人総合選手権の部 | 優勝 | 賞状・メダル・トロフィー | 2～3位 | 賞状・メダル | 4～6位 | 賞状 |
| (3)種目別選手権の部 | 優勝～3位 | メダル・賞状 | 4～6位 | 賞状 | | |

5. 審判員派遣について

- (1)参加選手の人数によって審判員を派遣すること(男女別)。派遣人数は以下の通りとする。
 - ・団体出場する大学・・・2名
 - ・2～4名出場する大学・・・1名
- (2)審判員の資格は2種以上とする。尚、学生は認めない(例外として大学院生は認める)。但し、本部より特別に派遣する場合もある。
- (3)監督は原則、審判員を兼任することはできない。
但し、本部の認めた者はこの限りではないが書面をもって本部に連絡し許可を得ること。
- (4)審判員を派遣できない大学は、1名につき 40,000 円をもって本部に依頼すること。
- (5)審判員編成については、その一切を本部に委任すること。
- (6)(公財)日本体操協会委員を派遣する場合はあらかじめ大会本部の承認を得ること。
- (7)派遣審判員にかかる費用については全て大学が負担すること。

6. 補助役員について

- (1)参加選手の人数によって補助役員を派遣すること。派遣人数は以下の通りとする。
 - ・チーム出場する大学・・・2名
- (2)男女別で派遣すること(出来る限り審判員資格3種以上を有する者が望ましい)。
- (3)補助役員を派遣できない大学は、1名につき 10,000 円の依頼費をもって本部に依頼すること。
- (4)補助役員は補助役員会議への参加を義務付ける。

7. 第76回全日本学生体操選手権大会出場について

- (1)1部校は、本大会に参加しない場合、第76回全日本学生体操競技選手権大会への参加は認めない。
- (2)2部校は、第76回全日本学生体操競技選手権大会の予選を兼ねており、下記の全日本学生体操連盟の通過基準により西日本インカレからの予選通過チーム、個人を決定する。

<男子>

- ・チーム： 団体総合選手権上位6校、チーム個人選手9名(上位1～3位校は各2名、上位4～6位校は1名)
- ・予選通過個人選手： ① 個人総合選手権 得点上位2名(東・西インカレチーム通過大学以外の大学に所属する選手の令和4年度東・西インカレ個人総合得点を比較し、その上位2名)
- ・予選通過個人選手： ② 個人総合選手権 得点上位11名(チーム通過大学以外の大学に所属する選手から、上記予選通過個人選手①を除いた選手より)

<女子>

- ・チーム： 団体総合選手権上位4校、チーム個人選手6名(上位1～2位校は各2名、上位3～4位校は1名)
 - ・予選通過個人選手： ① 個人総合選手権 得点上位2名(東・西インカレチーム通過大学以外の大学に所属する選手の令和4年度東・西インカレ個人総合得点を 比較し、その上位2名)
 - ・予選通過個人選手： ② 個人総合選手権 得点上位8名(チーム通過大学以外の大学に所属する選手から、上記予選通過個人選手①を除いた選手より)
- ※ 上記により、男女予選通過個人選手の最終決定は東・西インカレ両大会終了時点とする。
- ※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手(女子においては予選通過個人選手②)を5名(5枠)増やすこととする。
- ※ 本大会チーム出場大学より、上記チーム個人選手枠の返上があった場合、予選通過個人選手(女子は予選通過個人選手①)の枠を増やすこととする。チーム個人選手枠の返上は、東・西インカレにおける全日本インカレ通過者会議までとする。
- ※ 通過者会議で決定した予選通過個人選手から全日本インカレの申し込み最終締め切りまでに棄権の申し出があった場合、西日本インカレにおける次点の選手を順次繰り上げることとする。
- ※ 全日本インカレ申し込みについては、全日本学生体操連盟ホームページより確認してください。

8. 体操競技同点順位について

(1)表彰について

団体 個人総合 種目別選手権ともに同点は同順位として表彰する。

(2)通過に関する順位付けについて

団体選手権については、全種目(男子6種目、女子4種目)のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残り種目(男子5種目、女子3種目)の得点の合計が高いチーム。それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。(さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム) 最低種目得点の男子5種目、女子3種目を除いても尚同点の場合は、同順位とする。

個人総合については、団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。すべての種目の得点が同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。

種目別については、Eスコアの高い者。それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。

<新体操の部>

1. 競技内容及び順位の決定

(1) 団体総合・団体種目別選手権

男子・・・徒手

女子・・・フープ(5) リボン(3) + ボール(2)

男子は、1回の試技の得点により順位を決定する。

女子は、2種目の合計得点により順位を決定する。

団体体操選手権は、団体種目別選手権を兼ねて行う。

(2) 個人総合・個人種目別選手権

男子・・・スティック・リング・ロープ・クラブ

女子・・・フープ・ボール・クラブ・リボン

男女ともに、総合選手権は4種目の合計得点により順位を決定する。

個人総合選手権は、個人種目別選手権を兼ねて行う。

※なお、団体・個人・種目別選手権において男女とも同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。

2. 参加人数

(1) 団体競技

男子・・・1チーム8名(補欠を含む) 男子は各大学、チーム無制限とする。

女子・・・1チーム6名(補欠を含む) 女子は各大学 2チームまでの参加を認める。

※女子は6名出場の場合、全員かならずどちらかの種目に出場しなければならない。

(2) 個人競技

男子の個人参加は、各大学無制限とする。

女子の個人参加は、1大学 8名までとする

※ 尚、種目別のみの出場の場合は全日本学生新体操選手権大会の通過は認めない。

(3) 選手変更

参加申し込み提出後、選手変更の必要が生じた場合は、書面にて5月24日(火)の監督会議前までに受付に提出すること。

※ 参加者は団体体操選手権・個人総合選手権を兼ねて出場することが出来る。

3. 競技方法

(1) 男子・・・(公財)日本体操協会採点規則2022年版を採用する。

女子・・・(公財)日本体操協会採点規則2022年版-2024年版を採用する。

(2) 競技中の負傷により演技の継続が不能になった場合、残りの種目の得点は0.000とする。

(3) 0.000は棄権ではなく、得点として扱う。

(4) 試技順については以下の通り公開抽選にて行う。

・個人抽選は、選手または大学の代表者による抽選にて決定する。

・団体抽選は、大学の代表者による抽選にて決定する。

- ・女子は1種目目のみ抽選をし、2種目目は1種目目の競技成績により決定する。
 - ・参加する大学は事前に大会本部へメールで連絡すること。出席できない大学は、本部による代理抽選とする。
- ※抽選については 中京大学豊田キャンパスにて行う。日時場所は後日ホームページに掲載する。

4. 表彰

- | | | | |
|----------------|-----------------|-------------|---------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝 賞状・メダル・優勝杯 | 2～3位 賞状・メダル | 4～6位 賞状 |
| (2) 個人総合選手権の部 | 優勝 賞状・メダル・トロフィー | 2～3位 賞状・メダル | 4～6位 賞状 |
| (3) 種目別選手権の部 | 優勝～3位 メダル・賞状 | 4～6位 賞状 | |
| (4) 団体種目別選手権の部 | 優勝 賞状 | | |

5. 審判員派遣について

- (1) 参加選手の人数によって審判員を派遣すること。派遣人数は以下の通りとする。
 - <男子> 1～2名以上の大学・・・1名以上 3名以上出場の大学・・・2名
 - <女子> 個人 1～3名出場の大学・・・1名 個人4名以上または団体のみ出場の大学・・・2名
個人及び団体に出場する大学・・・2名以上
- ※ 尚、男女共、団体体操選手権と個人総合選手権の派遣審判員は兼ねることができる。
- (2) 審判員を派遣できない大学は、1名につき40,000円の依頼費をもって本部に委任すること。
- (3) 審判員の資格は2種以上とする。尚、学生は認めない。但し、本部より特別派遣する場合もある。
- (4) 全日本学生体操連盟に加盟している学生及びID申請をした者は審判員としての実務を行うことは出来ない。
但し、本部依頼の派遣審判員においてはこの限りではない。
- (5) 審判員構成については、その一切を本部に委任すること。
- (6) 財団法人日本体操協会、新体操委員会委員及び審判派遣委員会委員を派遣する場合は、あらかじめ本部の許可を得ること。
- (7) 大学派遣の審判にかかる費用については、すべて大学が負担すること。

6. 補助役員について

- (1) 男女団体出場校・・・1名 男子個人5名以上出場校・・・1名 女子個人4名以上出場校・・・1名
団体・個人の両方に該当する場合は兼任を認める。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は1名につき10,000円の依頼費をもって本部に依頼すること。
- (3) 補助役員は、出来る限り審判員資格3種以上を有する者が望ましい。
- (4) 補助役員はセッティング・補助役員会議への参加を義務付ける。

7. 第74回全日本学生新体操選手権大会通過及び出場について

- (1) 本大会に出場しない者は第74回全日本学生新体操選手権大会の出場を認めない。但し、本大会に出場してなくても、全日本学生体操連盟が推薦する選手はこの限りではない。
- (2) 本大会は第74回全日本学生新体操選手権大会の予選を兼ねており、全日本学生体操連盟の基準に基づいて決定する。

<団体競技出場規定>

- ①男子は、東・西インカレに出場したチームが第74回全日本学生新体操選手権大会への通過を認める。
女子は、東・西インカレ各上位8位までのチームを本大会への通過チームとして認める。
- ②女子は、同一大学における通過チームは、上位1チームまでとする。それ以上のチーム数が団体体操選手権上位8チーム内に含まれたとしても通過の対象外となる。よって、そのチーム数分他大学の通過順位が繰り上がる。

<個人競技出場規定>

- ①男女とも、各個人総合選手権上位25位までの選手が第74回全日本学生新体操選手権大会への通過を認める。
- ②同一大学における通過者は男子上位8位、女子上位6位までとする。それ以上の人数が個人総合選手権上位25名に含まれたとしても通過の対象外とする。よってその人数分他大学の通過順位が繰り上がる。
- ③尚、全日本インカレへの通過者が25名に達しなかった場合、女子は7位以降の選手の通過を認める。
*この場合、点数の高い順に通過者が25名に達するまで繰り上げるものとする。
- ④男子25位又は同一大学内の8位が同点の場合の順位優劣は学連ルールに準ずる。
女子25位同点の場合の順位優劣は採点規則に準ずる。また、同一大学内の6位が同点の場合は種目別選手権において最高得点を得た選手の通過を認める。
*通過者会議以降の繰上げ通過は認めない。
*推薦基準について(別紙参照)

8. 新体操女子推薦基準

西日本インカレ(全日本インカレ予選)に出場しない選手が、全日本インカレ出場する際の「推薦基準について」下記事由により参加できなかった場合、該当選手はその理由を証明する書類を添えて申請する。出場可否の判断は学連に委ねる。

(1) 選手の資格

- ①日本体操協会において認められたナショナル選手。
- ②前年度の全日本選手権大会において個人総合8位以上の成績を修めている選手。
- ③その他、上記①②と同等の評価がされる選手。
- ④天災、法定伝染病などの理由により、西日本インカレに出場できなかった選手。

(2) 西日本インカレ出場不可の理由

- ①ナショナル選手として日本体操協会より派遣された競技会の期日と、西日本インカレの期日と重複。
- ②怪我などの故障。
- ③天災の影響
- ④法定伝染病などの理由により、所属大学より競技会参加の許可が下りなかった場合。

(3) 参加枠の取り扱い

- ①上記2の①の場合は該当の選手の出場を認める。
- ②必ず東西日本インカレに参加登録をし、上記2の②③④の理由により棄権した場合 大学に与えられた人数枠内(原則として6名)で、該当の選手の出場を認める。

<共通項>

1. 参加料

- (1) 参加費(保険料、医療費含む)
- | | |
|--------|---------|
| 団体1チーム | 60,000円 |
| 個人1名 | 12,000円 |
- (2) 審判依頼費 40,000円
- (3) 補助役員依頼費 10,000円

2. 参加申し込み・参加費振り込み

参加申し込みは、以下の西日本学生体操連盟ホームページの指示に従い登録及び申し込みをしてください。

<http://west-std-gym.com/>

申し込み締め切りは、

新体操・体操競技(共通) 5月2日(月)

- ※ 参加申し込みとは別に提出する必要がある書類(西日本学生体操連盟ホームページに掲載)
 - ・参加同意書・健康チェックリスト、体調管理及び行動歴記録表(大会前)、宿泊先報告書
- ※ 書類様式・提出方法等については、競技部報掲載時に連絡する。

問い合わせについては

〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101

中京大学 豊田キャンパス 5号館体操場内 西日本学生体操連盟

連絡先:委員長(東 武志)・・・090-5862-5419 E-mail tokaihokuriku_stdgymren@yahoo.co.jp

3. その他

- (1) 音楽デッキは各大学で用意すること。
- (2) 競技区域に入れる者は、大会役員・審判員・補助役員・競技者・チームリーダー・コーチ
(体操・・・1チームにつき1名、個人は出場人数に関わらず1名)
(新体操・・・1チームにつき1名、個人は出場選手2名につき1名)
- その他、器械器具及び会場内の保持に必要な者に限る。入場する場合には必ずIDをつけること。
部長、監督、主務、補欠のID保持者は練習中の競技区域内及び競技中のフェンス外に入れるものとする。
尚、音楽係のID保持者は、音楽席のみで活動すること。また、女子の個人選手(3名以下)に限り、段違い平行棒のみコーチを一人追加できる。
- ※ 競技区域:フェンスの内側
 - ※ 但し、大会本部の認めたものはこの限りではない。また、ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。

(3) トレーナー申請を希望する大学は、参加申し込みと共に申請書を提出することを要する。尚、トレーナーは指定の場所のみで活動するものとする。

※ トレーナーの申請人数は男女共、各1名の計2名までとする。

※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。

(4) 審判員、競技役員は競技中いかなる理由をもってしても本部の許可なしに、演技の指導、競技への参加、その他の任務を受諾することは出来ない。

(5) 器具及び会場設備の破損の場合には、参加者全員を持ってその弁済にあたる。

(6) プラカードは各大学で用意すること。

(7) ゼッケンに関しては、各大学で用意する。(縦 15cm・横 20cm) (男子は黒字・女子は赤字)

(8) 体育館内を使用する場合は清潔を保つように心がけ、大会日程中に出たごみは各大学で必ず責任をもって処理をすること。

(9) 撮影については、当日受付にて申請をした者に限り許可する。

(10) 以上の記載事項が完全に守れない場合には出場停止、又はその他の処置をとる。

※ 本大会は、日本体操協会及び全日本学生連盟が提示している、新型コロナウイルスにおける「体操活動における感染拡大予防ガイドライン」を参考に、西日本学生体操連盟が作成した「新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン」に則り行われる(ホームページ掲載のガイドラインを熟読しておいてください)。